

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	防犯カメラ維持管理事業
事業実施前の状況	神田小学校、消防分団横の2ヶ所しか防犯カメラがなかった。 神田地区にて白昼空き巣泥棒に入られるという事態が発生。
事業実施後の状況	令和3年度に神田地区の出入りをカバーする15ヶ所に防犯カメラを新設した。 また、防犯カメラ設置済の部分反射看板も4年度に設置、PR効果を期待している。
事業の効果	神田地区への不審者の出入りがキチンとみれるようになった。 事故抑止効果が期待できる。
今後の課題	新規設置場所の検討が必要。(特に自治会・町会組織が無い地域)

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	神田小学校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。 令和4年度も残念ながら新型コロナ関連で盆踊り大会は実施できなかった。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。 令和元年度は天候にも恵まれ2日とも実施できた。 令和2年・3年・4年ともにコロナ関連で実施できず。
今後の課題	令和元年度から行事報奨金への変更した。 今後も継続して支援金額の検討が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘) 市道夫婦池神田線が街路灯が少ないという地域からの声が上がっていた。
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあったものを中心に、 街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。 維持費も発生。 令和4年度に夫婦池神田線に新たに10基新設した。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果 が出ていると思われる。 新たに10基新設したことにより、夜間通行が安全にできるようになった。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。 継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	神田小学校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。 令和4年度も新型コロナ関連で住民運動会は実施できなかった。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。 令和2年・3年・4年と3年続いて実施できず。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) 平成30年度につづき、継続実施できた。 また、令和元年度に老朽化に伴いバッテリー交換不可のため新規に3台購入。
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。 また、PRのためパトロール中の肩掛け襷も効果をあげている。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域内会館備品整備事業
事業実施前の状況	神田会館には遊具以外に子どもが集まるような備品がなかった。
事業実施後の状況	子ども文庫を設置し、絵本をみるために子どもが集まりやすい環境をつくる。
事業の効果	マット・絵本を購入し、いざ子ども文庫を開設しようとした矢先にコロナ関係で会館の利用ができなくなった。 絵本追加購入実施した。
今後の課題	令和2年度に入り、コロナ騒動が収まってから子ども文庫を開設・PRに努める。 また、新規絵本購入方法の検討も必要。 令和3年度もコロナ関連で開設できなかった。 令和3年度は本事業の予算申請を漏らしたため、事務費を流用して絵本を購入 令和4年度もコロナ関連で開設できなかった。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域内会館備品運営事業
事業実施前の状況	パソコン・コピー機等がなく不便。(個人の機器の使用・コンビニでのコピー)
事業実施後の状況	ノートパソコン・複写機をリース、書類・パソコン等の保管用の保管庫も購入。
事業の効果	個人の機器の使用もせずすみ、協議会用書類も安くコピーできるようになった。
今後の課題	専用の事務室の設置、併せてファックス用の電話設置が必要。 コピー機も他団体が利用できるように検討が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田地域コミュニティ広報事業
事業実施前の状況	年3回の広報誌が唯一の広報手段であった。
事業実施後の状況	神田地域コミュニティの活動内容や、神田の自然・行事・文化等の写真を使ったカレンダーを作成し、全戸配布した。 令和2年度以降中断していたカレンダーの発行要請が強く、令和4年度に再度カレンダーを発行した。
事業の効果	神田地域内の写真等を通じて、神田地域のコミュニティ意識の高揚がはかれた。
今後の課題	地域行事・自然等の写真を広く地域住民に公募し、コミュニティ意識の更なる高揚を図ることの検討が必要。 住宅の増加を常にチェックし発行部数の検討が必要。

令和5年5月 31 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古 澤 文 雄



記

事業の名称	神田フェスタ開催事業
事業実施前の状況	地域住民の交流・ふれあいの場としては、年1回の盆踊り・運動会のみであった。
事業実施後の状況	令和元年度も年3回の神田フェスタを開催予定していたが、今年にはいつてのコロナ感染の問題で3月予定のフェスタは中止となった。 令和4年度は令和4年9月、令和5年3月とフェスタは2回実施できた。。
事業の効果	回を追うごとに参加者も多くなり、次回への期待の声が多くなってきた。久しぶりの神田フェスタということで大勢の参加で賑わった。
今後の課題	参加者の増加・高齢者が多いということで開催場所の設定がむつかしくなってきた。(神田地区中心部にある民間設備の利用も検討) 令和2年・3年と2年続いてコロナ関連で開催できず。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	神田地域花いっぱい運動支援事業
事業実施前の状況	地域内の公園には花が少なく、手入れも不十分であった。
事業実施後の状況	公園3か所に花壇を設置、定期的に花の入れ替え・水やり等ができるようになった。(神田花の会メンバーが対応) また、令和元年度から神田小学校3年生とPTA、地域が一緒になって花を育て、学校に植えたり、地域の施設・団体に贈呈することも始めた。
事業の効果	常にきれいな花がみれるようになって利用者から好評を博している。
今後の課題	他の公園他花壇など必要な場所がないか検討が必要。

令和5年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	キッズランド支援事業
事業実施前の状況	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。
事業実施後の状況	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。 令和4年度も新型コロナ関連でキッズランドは実施できなかった。
事業の効果	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。 令和2年・3年・4年と3年続いて実施できず。
今後の課題	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。